

I 根室管内における草地管理の課題

1 現在の課題とその原因及び今後想定される課題

根室管内における草地の課題について下記の通りまとめました。

(1) 課題一覧

1) 草地管理

- 有機物（スラリー・堆肥）の適正量散布
- 植生悪化の速度が速い
- 作業の外注によりほ場の観察が不足している
- 放牧地の雑草（アザミ）対策

2) 収穫

- 1 番草の刈取時期が遅くなる

3) 草地更新

- 施工時期の偏り（夏更新が多い）
- 春は種での雑草対策
- 地下茎型イネ科雑草が目立つ
- メドウフォックステイルが増えている
- 部分的に出芽、生育が悪い

4) 環境

- 鹿の食害

(2) 各課題の原因と対策

1) 草地管理

現状の課題	有機物（スラリー・尿・堆肥）の適正量散布
その原因	有機物の保管条件で養分濃度が変わる
解決方策	• 養分濃度を把握するために分析を行いましょう。分析値がない場合は簡易データを活用して下さい • 養分濃度に基づいた施肥設計をしましょう
今後想定される課題	スラリーや消化液の散布では、土壌中のカルシウムが補えないため土壌改良資材の利用が必要
参考ページ	39～49 ページ
関連資料	家畜ふん尿処理・利用の手引き 2004

現状の課題	植生悪化の速度が速い
その原因	スラリー、堆肥から雑草種子混入 作業機械の大型化による土壌の硬化、タイヤ痕による雑草侵入
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> ・スラリーや堆肥の保管時に雑草種子混入の防止策が必要 ・適正な施肥量の維持 ・ギシギシ類の防除を行う ・草地のエアレーションなどで植生の維持
参考ページ	13、50～51 ページ
関連資料	チモシー基幹草地の早刈りによる植生変化とその対策（H3） 根釦地域の草地更新時における植生悪化要因の実態（H24） 更新後草地におけるチモシーの維持対策（R3）

現状の課題	作業の外注によるほ場の観察が不足している
その原因	事業による草地更新やコントラで収穫する場合、ほ場の観察が不足する
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめにほ場の観察をしましょう ・雑草の種類や量、裸地の大きさなどは程度により対応が変わるため、自分（コントラ業者から報告）で観察して方針を決めましょう
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	

現状の課題	放牧地の雑草（アザミ）対策
その原因	家畜糞尿に混入する雑草種子や道路のり面等周辺からの雑草種子の飛沫
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> ・開花前の掃除刈りや抜き取りによる個体数の抑制 ・裸地を埋めるために追播（白クローバー、ペレニアルライグラス）を活用し雑草を抑制
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	

2) 収穫

現状の課題	1 番草の刈取時期が遅くなる
その原因	天候が悪く刈取遅れる 早春の肥料散布の時期が遅い
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> ・6 月初旬の好天を利用し収穫する ・機械のメンテナンスや突発事故等の回避 ・牧草の早晩性、草種の使い分けを行い、収穫期間に余裕をもつ
参考ページ	5、6～11、19～21、25 ページ
関連資料	

3) 草地更新

現状の課題	施工時期の偏り（夏更新が多い）
その原因	1 番草の収穫を行い、収量確保するため
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> 更新時期の分散が必要（春更新、麦同伴栽培、秋まきライ麦の春収穫 2 年の夏施工の利用等を検討する）
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	混播草地における夏季更新の播種晩限（H27） 更新初期の牧草生産性に対する簡易草地更新の効果（R1）

現状の課題	春は種での雑草対策
その原因	春作業が遅く雑草が旺盛になるため
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> 畑に入れる時期に早めには種する 秋まきライ麦の春収穫 2 年の夏施工
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	イタリアンライグラスを用いた無除草剤草地更新技術（H24）

現状の課題	地下茎型イネ科雑草が目立つ
その原因	<ul style="list-style-type: none"> pH 維持が不足 草地更新時の除草剤効果不足 経年草地や湿地で多く発生する
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> タンカル散布し pH 維持と肥効を上げる 多草種混播、オーチャードグラス、ペレニアルライグラスなどの競合力の強い草種の活用 リードカナリーグラスは栄養価が低下する前に刈取りし粗飼料として有効利用する
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	植生から見た根室地方の採草地における更新指標（S58） リードカナリーグラスの利用法（H18） 根釦地域の草地更新時における植生悪化要因の実態（H23） 地下茎イネ科雑草種に対応したチモシー採草地の植生改善技術と地域における植生改善推進方法（H27） オーチャードグラス、ペレニアルライグラス混播導入によるリードカナリーグラス草地の改善効果（H27）

現状の課題	メドウフォックステイルが増えている
その原因	外部からの種子混入
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> 刈り取りだけでは解決できないので、完全更新で除草剤散布により個体数を低下 飼料用とうもろこし、イタリアンライグラス、秋まきライ麦などを2年程度作付けし種子が減少後に草地更新する
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	難防除雑草の対策（道自給飼料改善協議会）（H28） メドウフォックステイルの防除技術（H25）

現状の課題	部分的に出芽や生育が悪い
その原因	雨水で種子の流亡によるムラ
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> 草地更新時の均平作業 秋には種する場合、は種晩限を守る は種後の鎮圧を充分に行う 早めの追播を行う
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	

4) 環境

現状の課題	鹿の食害が多発する
その原因	<ul style="list-style-type: none"> 鹿の個体数の増加
解決方策	<ul style="list-style-type: none"> 鹿柵の設置、有効利用 個体数を減少させるために捕獲の強化
参考ページ	次年度掲載予定
関連資料	